

「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」災害時組織対応セミナーを実施しました（2026/7/4）

テーマ：事業継続計画（BCP）、災害対策マニュアル

会 場：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

URL：<https://www.dcmd.hosp.tohoku.ac.jp>（コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム）

2026年7月4日（土）、宮城県仙台市の東北大学災害科学国際研究所において「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」災害時組織対応セミナーを実施し、プログラム履修生他8名（医療従事者、行政職員、医学生など）が研修を受講しました。実習コーディネーターを務める佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野）が会場責任者として運営と、事業継続計画（BCP）に関する講義・演習を行いました。

災害時に病院や自治体、消防は遅滞なく初動対応に取り組む必要があります。各組織で災害時の初動マニュアルを整備しています。各組織の初動マニュアルはアップデートが繰り返されよく練られたものですが、視点の偏りや他組織との連携に乏しいものもあります。本セミナーでは参加者が所属する組織のマニュアルを持ち寄り、職種を超えた視点でお互いの初動マニュアルの課題を抽出しました。またマニュアルをベースにした訓練の企画立案に関する机上演習を行いました。佐々木准教授はBCPの概念や東北大学病院のBCP策定手順を講義しました。また昨今大きな課題となっている浸水による病院被害とその対策、水害BCPについて、最新の研究知見を盛り込みながら紹介しました。受講者からは「水害は大きな問題だと感じた。自施設、関係機関と対策を検討したい」との声があがりました。



浸水する病院のリスクについて
講義する佐々木准教授



グループ討議で
模擬訓練テーマを決定



企画した訓練テーマ・概要を
発表する受講生



セミナー全景

文責：佐々木宏之（災害医療国際協力学分野）